



2015年に、
進めろ〜!

わくや
2015
1
No.714

広
報

2015年は、ひつじ年です。

穏やかなひつじたちのように、
平和で安泰な一年であることをお祈りします。

※撮影協力 籠岳山観光栗園 駒米宏一郎さま

謹んで初春のお慶びを申し上げます



町長 安倍 周 治

あけましておめでとうございます。町民の皆様には、希望に満ちたすがすがしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃は町政運営に對しまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

早いもので東日本大震災の発生から間もなく3年10か月を迎えようとしております。震災以降、「災害復旧計画」により復旧・復興を最優先とし、本年度末までに生活基盤、社会基盤の復旧が終了するよう取り組んでまいりましたが、皆様

が心待ちにされております。涌谷公民館の改築と被災された皆さま方にご入居いただく災害公営住宅の建設が、今年3月をもって完成の運びとなりました。当町における震災からの復旧事業は、平成26年度で全て完了となりますことから、これまでご支援・ご協力いただきました皆様方に深くお礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、安倍内閣によるアベノミクス効果は大企業等においては効果が見え始めたという評価もございましたが、地方あるいは被災地においては景気回復等の恩恵が薄いとの見方も多く聞かれました。そのような中、国では、地方が成長する活力を取り戻し、人口減少を克服することを目標に「まち・ひと・しごと創生法」など地方創生関連2法を成立させました。今後この法律により、どのような地方の活性化が図られるのか、国の動向に注視して参りたいと考えております。

さて、本年は元の涌谷町と笹岳村が合併し、現在の涌谷町が発足、町制がスタートいたしましたことから60周年を迎える記念の年となりますことから、町民皆様と共に節目を祝うべく、様々な記念行事・記

念事業を開催したいと考えております。また「第4次総合計画」が平成27年度に終了することから、「第5次総合計画」を策定し、平成28年から10年後の涌谷町の目標と構想を決定してまいります。これまで先人先輩方が築き上げてきた郷土涌谷が、ますます輝くまちづくりができるような計画を策定してまいります。

当町は、平成24年3月に「涌谷町復興まちづくりマスタープラン」を策定し、生薬によるまちづくりを行っておりますが、これまでの町民医療福祉センターを核とした「地域包括医療」と併せての活動が認められ平成24年7月にWHOアジア西太平洋地域健康都市連合に加盟いたしました。健康都市連合は、WHOの提唱する健康を目指す国際的な都市の連合体の組織ですが、それぞれの都市の居住者の健康を守り、また生活の質の向上に取り組む複数の都市のネットワークです。このネットワークのつながりを広げ、他の都市の経験、知識や技術などを町政に反映し、国際的な協働を進めてまいります。

また、同じく平成24年度から「生薬を活かした健康まちづくり」に取り組んで

おりますが、これは住民の身体の健康のみならず、生薬栽培による心の健康、そして産業への活用とそれによる所得の向上により家計の健康、遊休農地活用による町土の健康を考慮しております。「生薬まちづくりの会」と共に生薬の栽培を継続しておりますが、本年はそれらを使った新商品の開発を図り、販売ルートの確保と六次産業化を目指してまいります。

安心・安全のまちづくりのため、災害に強い町づくりを目指し、防災行政無線の運用を開始し、河川防災ステーションを整備いたしました。災害発生時には重要な役割を果たす施設でありますので、今後も町民の皆様との防災訓練などを通じ、自主防災組織間の連携を強め地域防災力の充実強化を図ってまいります。また、本年は平成24年度に要綱を定めおりました「安全・安心まちづくり基本計画」を策定し、さらに災害に強い町を目指します。

災害応援協定では、平成25年度に山形県大石田町と協定を締結いたしました。東大寺サミット関係の全国9市町による災害時応援協定を締結することができました。大規模災害に備え相互の理解と協力を深めるため、町民同士の地域間交流を深めてまいります。

学校教育関係につきましては、学校等適正規模適正配置により、昨年の笹岳幼稚園と小里幼稚園の統合に続き、望ましい学校環境の確立に向け中学校のPTAの皆さまなどと協議をしてまいりました。

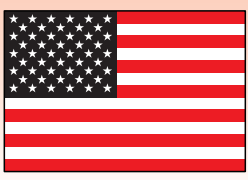
が、本年4月に涌谷中学校と笹岳中学校が統合し新生「涌谷中学校」が誕生いたします。今後は来年4月の笹岳小学校と小里小学校の統合を目指し、協議を進めてまいります。

私の町長就任から3年4か月が経過いたしました。所信表明で町政運営の基本として5つの政策を掲げ、実現すべくこれまで取り組んで参りましたが、概ね実現することができたと思っております。長年の懸案事項でありましたJR上涌谷駅前の整備と踏切拡幅工事につきましても、今年度中に上涌谷駅に送迎用の乗降スペース、駅ホームに接続するスロープを設けるなど広場の整備が完成し、来年度中には踏切拡幅工事も完成の予定でございます。課題はまだ多く残されており、引き続きながら、第6期介護保険、地域包括ケア、認知症対策など残された諸問題の解決に積極的に取り組んでまいり所存であります。

町制60周年の節目に、今町政に何が求められているかを冷静に見極めるとともに町民の皆さまが心から住んで良かったと思えるような魅力ある町づくりの実現に向け邁進してまいりますので、更なるご理解とご支援をお願いいたします。

結びにあたり、町民皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。





平成26年10月29日(水)～11月6日(木)の7泊9日間、涌谷中学校と麓岳中学校の中学生合計7名が、アメリカ海外研修に行つて参りました。

近年当町では、小学校で外国語活動授業を取り入れ、また中学校では外国人英語指導助手による英語教育が行われていることから、異文化交流に強い関心を持つ子どもが増えています。

当事業は、国際交流友好都市であるカリフォルニア州サリナス市での3泊4日のホームステイ、学校訪問での同年代生徒とのふれあい、そしてカリフォルニアの農産業に直接触れ体験することによって、国際人としての幅広い視野の持ち方を養うことを目的とした、体験学習型の人材育成事業です。

現地研修を通して、涌谷町の中学生たちがどのようなことを体験し学んできたのかということをご報告いたします。

10月29日(水) 長い一日目の始まり ～ホストファミリーと緊張の対面

今回は、団長である城口総務課長はじめ特別団員2名を含めた総勢10名での出発となりました。朝9時30分役場前に集合した生徒たちは、保護者や学校の先生、地域の方々に見守られながらの出発となりました。生徒たちは、アメリカへの飛行機の旅や出国手続きに緊張していた反面、待ちに待った研修がいよいよ始まるという期待を膨らませていました。古川駅・上野駅を



▲ホストファミリーと緊張の対面。生徒による代表スピーチ

經由して成田空港へ向かい、夜6時20分頃、飛行機に乗って成田を出発。約10時間の飛行を経てサンフランシスコ空港へ到着しました。現地到着時刻は10月29日(水)午前11時50分、時差に大変驚いていた様子でした。また、入国審査では英語での質疑応答に各自対応し、無事に予定どおりバスに乗り換え、サリナス市へ向かいました。途中立ち寄った日系スーパーやアウトレットモールでは、自分達だけでアメリカドルを使って初めての買い物をして、日本とは異なる雰囲気にとまどいながらも、金額の英語表記やお金の使い方、店員との英会話に取り組み、なんとか自分でコミュニケーションをとろうと頑張っていました。夕方5時頃、ようやくサリナス市へ到着しホストファミリーと対面しました。それまで、ホストファミリーとうまくコミュニケーションがとれるか不安と緊張を感じていた生徒たちでしたが、ホストファミリーの皆さんに温かい笑顔で迎えていただいたおかげで、満面の笑顔でスタートを切ることができました。



▲美術の授業の様子。机や絵の具を皆で共有しながら取り組みました。時には英語で会話をする場面も。

10月30日(木) 学校訪問。 ～現地生徒との交流

朝8時30分に全員集合し、市内のハーデン・ミドルスクールを訪問しました。学校に到着すると、ハスキーくん(学校独自のキャラクター)と代表生徒たちが出迎えてくれました。生徒たちは、学校の佇まいの違いや生徒達の服装が私服であることに大変驚いたようでした。到着後すぐに催された歓迎セレモニーでは、現地生徒手作りのドリームキャッチャーやハスキーくんのグッズが記念にプレゼントされ、また、お互いの学校生活や住んでいる場所についてスピーチを発表し合いました。その後、美術の授業で現地生徒と机を並べながら、ハロウインの伝統的な絵柄に自分で考えたデザインを作成するという活動を行いました。ハーデン・ミドルスクールでは、授業に使う教材や筆記用具は全て生徒同士共有し合うことになっています。生徒たちは初めての交流授業にどきどき緊張しながらも、少しずつ英語で話

しかけたりしながら、一生懸命活動に取り組んでいました。授業が終わった後は、涌谷町の生徒から現地生徒へ日本文化である折り紙を紹介し、ハロウインにちなんだ折り紙と一緒に作り、また、お互いの言語を紹介し合うミニゲームを行いながら交流を深めました。涌谷町の生徒たちは英語のみで交流することに難しさを感じながらも、現地生徒たちの積極的でオープンな姿勢に大いに感銘を受け、また彼らの親切な雰囲気助けられながら、密度の濃い有意義な時間を持てたようでした。

10月31日(金) 特産品農場見学 ～ハロウイン仮装パレード ～ギッシュ先生の講義

ホームステイでは、家で靴を履いたまま過ごすこと、ベッドやドアが大きいこと、日本ではなじみがない食事のメニュー等・・・皆それぞれが様々な発見をしたそうです。

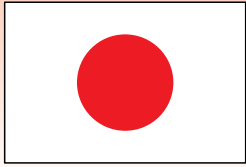
学校訪問を終えた後は、モントレー地方のフィッシュャーマンズブーフ、カメル地方の海岸を散策してカリフォルニアの自然にふれ、ホストファミリー宅への帰路につきました。

ハロウインの日の朝8時30分、ホストファミリーに送られて生徒全員が集まりました。まず、長年ホストファミリーについてご協力いただいたりリアンさんの案内のもと、サリナス市特産品であるアーティーチョークを取り扱う農場を見学に行きました。あざみの一種であり日本では生産されていない珍しい野菜を見て試食することができ、生徒たちにとっては印象深い見学となりました。その後、市内の公園に移動し、スプレッドクルス小学校の仮装パレードを見学しました。全校生徒と全職員のハロウインパレードはとて華やかで、皆感動して見えていました。同じ衣装を着ている人は誰もおらず、それぞれ独自に趣向を凝らした衣装を身にまといました。パレードを見終えた後、スプレッドクルス小学校を訪問し、小学4年生のクラスと校長先生にご挨拶しました。短時間の訪問でしたが、ハロウイン独特の雰囲気を感じることが、貴重な時間となりました。公園で昼食を終えた生徒たちは、ハートネル大学へ向かい、同大学元教授のギッシュ先生よりカリフォルニアの気候や農業について英語で講義をして頂き、カリフォルニア産の野菜を生で試食しました。講義の途中で英語での質疑応答にとまどいながらも、朝見学したアーティーチョークや農場についてもさらに理解を深めることができました。

そして、夜は、それぞれがホストファミリーのもとへ帰り、楽しいハロウインの夜を



▲ギッシュ先生による講義の様子。時には英語で質疑応答する場面も。



初めてのアメリカ、初めての ～ 涌谷町中学生海外

過ごしました。
現地地のハロウインの夜には、子どもたちは仮装をして近所の家をまわり歩いてお菓子をもらおうという伝統的な習慣があります。生徒たちは、前日からハロウインの仮装をホストファミリーに手伝ってもらいながら準備することができていたようです。この日は、日本では体験できないイベントについて様々な形で参加することができ、貴重な一日となりました。

11月1日(土) ホストファミリーと過ごす フリーデー

この日は、各生徒がそれぞれのホストファミリーとともに一日を過ごしました。ショッピンゲンセンターやレストランに連れて行ってもらった生徒もおり、生まれて初めて経験することも多く大いに刺激を受けた日となりました。英語のみで過ごす生活環境の中、意思疎通が思うようにはできず四苦八苦した時もあったようですが、皆それぞれが充実した楽しい一日を過ごしました。

11月2日(日) ホストファミリーとのお別れ ヨセミテ国立自然公園へ出発

朝8時30分、いつもの集合場所にて。3泊4日間お世話になったホストファミリーとのお別れの時になりました。中には、ホストファミリーと離れたくないと話して涙を流す生徒もいました。皆、現地



▲ヨセミテ公園で先住民の集落跡地について説明を受ける生徒たち。

で独特の生活事情を目の当たりにしてショックを受けながらも、吸収し自分たちなりに適応していき、ホストファミリーと思い出深い日々を過ごすことができたようです。ホームステイを通して貴重な経験ができたことに感謝しながら別れを告げ、ヨセミテ国立自然公園へ向かいました。また、バスに乗っての長い旅が始まりました。途中立ち寄った巨大なサンルイス・ダムでは、現地ガイドのリホさんから、降水量が多くないカリフォルニアでは、産業や生活にいかんが重要であるかについてご指導いただくことができました。その後到着したヨセミテ国立自然公園では、残念なこと、降雪によりセコイアの巨木を見学することはできませんでしたが、変更して立ち寄った同公園内の資料館で、カリフォルニアの先住民にまつわる歴史を学び、更に、偶然先住民の方にお会いすることができました。アメリカの自然の壮大さと美しさだけでなく、歴史的背景についても学んだ日となりました。その夜は、ヨセミテ近辺のホテルに宿泊。アメリカに到着してから初めて自分たちだけで過ごさなければならぬ夜です。

アメリカは銃による被害事件が実際にある国です。そのことを肝に銘じながらの宿泊となりました。

11月3日(月) 霧に包まれた美しい都市 サンフランシスコへ

朝7時にホテルの食堂に集合し、朝食を食べました。これまでホストファミリーが全て準備してくれていましたが、ホテルでの滞在の間、全て自分たちで準備しなければなりません。自分でシリアルやパンを選んで器によそい、中にはワッフルを焼いて食べる生徒もいました。初めての朝食スタイルに少し戸惑いもあったようですが、きちんと食事をした生徒たち。誰一人体調を崩すことなく、サンフランシスコへ向かいました。道中、立ち寄ったフルーツスタンドでは、カリフォルニア名物のナッツを試食し、また小さなふれあいコーナーで動物とふれあうというラックした時間を過ごしました。約4時間のバスの旅を終え、サンフランシスコに到着。一変した都会的な美しい街並に感嘆し、有名なゴールデンゲートブリッジにて記念撮影。



▲教科書にも載っているゴールデンゲートブリッジにて記念撮影。

トブリッジを見学し、ケーブルカーに乗って市内を散策しました。

11月4日(火) サンフランシスコ市内見学。 美しい街での思い出づくり



▲ツインピークスよりサンフランシスコ市全景を背に記念撮影。この後、後ろに見えている同市中心街を散策しました

朝9時、市内ホテルを出発。ツインピークス、サンフランシスコ・ジャキアアンツ球場、ランバードストリート、フィッシャーマンズウォーフ(ピア39)、ユニオンスクエアを見学・散策しました。所々のフィールドワークの時間では、自分たちだけで活動する時間を過ごしました。これまでの研修で得た経験を生かしながら散策することは、生徒たちにとって、大いに刺激のある経験となったようです。

11月5日(水)～6日(木) 日本への帰国

ホームステイ、学校訪問の時にいただいたプレゼントや、自分たちで選んで買ったお土産を抱えて、朝7時25分にホテルを出発しサンフランシスコ空港へ向かいました。お世話になった現地ガイドのリホ

さんにお礼とお別れを言い、無事に出国手続きを終えた生徒たち。多くの生徒が、もつとアメリカに滞在したいと話していました。その後、予定通り11時過ぎにアメリカを発ち、約16時間の飛行の後、6日(木)午後3時15分に成田に到着し、夜9時30分涌谷町へ無事に到着。皆、帰りを待つ家族の元へ帰りました。今回の研修を通して、生徒たちは様々な経験をしました。初めて身を置く環境でどのように振る舞えば良いのかを、皆それぞれが考えながら工夫して行動していくという、貴重な学びの機会を得られたことでしょう。当研修によって得た数多くの経験が、今後、彼らが更に成長し発展していく基盤のひとつになっていくてくれることを、心より祈っています。

参加員紹介

※順不同、敬称略

涌谷中

3年 海上 穂乃香、佐藤 聖利、佐藤 菜花、佐藤 夏帆

笹岳中

3年 渡辺 夏帆、照井 菜花、寒澤 夏帆

特別団員

涌谷中 教諭 佐々木 俊幸、総務課 参事 兼 課長 城口 貴志生、教育総務課 主事 新田 直子(広報掲載担当者)

涌谷中 教諭 佐々木 俊幸、総務課 参事 兼 課長 城口 貴志生、教育総務課 主事 新田 直子(広報掲載担当者)



他の自治体等のキャラクターとともにステージに上がる城山の金さん

12月2日(火)に仙台市の日立システムズホールにおいて行われた東日本放送「2014みやぎふるさとCM大賞」の審査会において、涌谷町が出品したCM作品が、アイデア賞を受賞いたしました。番組放送は、1月3日(土)15時55分〜17時25分に行われます。

今回の受賞により、東日本放送で応募作品が年間20回無料放送されることとなりました。

なお、応募作品は、涌谷町ホームページからご覧いただけます。

みやぎふるさとCM大賞でアイデア賞を受賞



表彰状と楯を手にする籠岳小学校児童の金野広哉くん(右)と渡辺蒼太くん(左)。

籠岳小学校が、30年間の長きにわたって取り組んできた「レター作戦」が交通安全教育活動の推進と交通事故防止に尽力した功績により、東北管区警察局長から表彰されました。

この取り組みは、全校児童ひとりひとりが交通安全の願いを込めた手紙を書き、学校前の交差点で信号待ちをしているドライバーに配るといふものです。

大型車両のドライバーに配るのは大変だったけれど、みんな喜んで受け取ってくれてうれしかったと話していました。

東北管区警察局長表彰
籠岳小学校の交通安全の取り組みを表彰

平成26年度『納税標語コンクール』入賞作品が決定



涌谷町の未来を担う町内小中学校の児童生徒を対象に、納税の啓発及び納税意識の高揚を図るため、平成26年度「納税標語」を募集したところ、素晴らしい作品を多数応募いただきました。厳正なる審査の結果、入賞作品が決定しましたので、ご紹介します。

なお、入賞された写真の7名のみなさん、当日欠席された涌谷中学校の菊池さん、脇坂さんの作品は、町内の公共施設に掲示するとともに、納税通知書及び封筒に印刷し活用させていただきます。

中学生の部

- 最優秀賞** この税で みんなに幸せ 届けます
涌谷中学校 3年 菊池 せいら
- 優秀賞** 納税で 素敵な未来 築こうよ
涌谷中学校 3年 脇坂 瑞希
- 優秀賞** キラキラと 輝く社会 納税で
籠岳中学校 3年 高橋 優美
- 優秀賞** 納税は 幸せ未来の 第一歩
籠岳中学校 1年 阿部 朝香

小学生の部

- 最優秀賞** 納税で ふっこう未来の 希望の輪
籠岳小学校 6年 岩谷 史苑
- 優秀賞** 納税で 分け合う希望 光る町
涌谷第一小学校 6年 木村 朱里
- 優秀賞** その税で 良い街 良い国 良い未来
籠岳小学校 6年 金野 広哉
- 優秀賞** 地域の輪 税金納めて 広げよう
月将館小学校 5年 桜井 一成
- 審査員特別賞** 税金を 皆で出し合い 町づくり
小里小学校 6年 阿部 克己

入賞された皆さん、
おめでとうございます

▶ 納税標語コンクールに関する問合せ先
税務課 納税班 ☎ 43-2114

写真の並び順左から右へ順に

阿部 克己くん(小里小6年)、桜井 一成くん(月将館小5年)、
金野 広哉くん(籠岳小6年)、木村 朱里さん(涌一小6年)、
岩谷 史苑さん(籠岳小6年)、高橋 優美さん(籠岳中3年)、
阿部 朝香さん(籠岳中1年)